



Little Women Project
若草プロジェクト

プラットフォーム 「TsunAが〜る」 企業向け説明会

12月7日（月） 15:00～16:30
（オンラインの方は14:50からご入場いただけます）



Little Women Project
若草プロジェクト

若草プロジェクトについて

若草プロジェクトの立ち上げ

SOSを心に抱えた少女や若い女性たちを支援するため、
2016年に立ち上げ

(代表呼びかけ人)



瀬戸内寂聴
(作家、僧侶)

人に言えない深刻な悩みや苦しみに、心も体もこわし、ひとり絶望している少女や若い女性たち!!
彼女たちの心の闇に、一条の光となって、あなたの手をさしのべてあげてください。
彼女たちの言葉にもならない切ないS O Sにあなたの耳を傾けて下さい。
彼女たちの苦悩の原因は、すべて、私たち大人の作った現代の日本の歪みが生んだものなのです。どうか彼女たちの悩みを、あなたの悩みとして、共に悩み、苦の出口をみつけて下さい。お願いします。

若い女性や少女に支援が必要というと意外に思うかもしれませんが。でも、貧困、虐待、ネグレクト、D V、薬物依存など彼女たちを取り巻く今の社会環境は厳しいのです。そして、彼女たちは一人で何とかしなければと苦しんでいます。
そんな彼女たちにS O Sを出していいと伝えませんか。みなさんのご協力を心からお待ちしています。



村木厚子
(元厚生労働事務次官)³

(一社) 若草プロジェクト

設立 2016年3月

役員

代表理事	大谷恭子	弁護士
統括理事	村木太郎	大正大学地域構想研究所教授、(NPO)ストローク会理事長
理事・事務局長	牧田史	弁護士
理事	遠藤智子	(一社) 社会的包摂サポートセンター事務局長
理事	瀬尾まなほ	瀬戸内寂聴秘書
理事	佐藤加奈	(社福)日本身体障害者団体連合会 事務局次長
理事	佐藤静江	社会福祉士・精神保健福祉士
理事	福田万祐子	福田医院 統括・株式会社ユーコー 代表取締役
監事	塩生朋子	弁護士

代表呼びかけ人

瀬戸内 寂聴 (作家、僧侶)、村木 厚子 (元厚生労働事務次官)

呼びかけ人

千葉景子	日本更生保護女性連盟会長、元法務大臣	山田洋次	映画監督
小津博司	弁護士、元検事総長	菊地裕太郎	弁護士、前日弁連会長
小室等	ミュージシャン	道浦母都子	歌人
上野千鶴子	(NPO)WAN理事長、東京大学名誉教授	浅倉むつ子	早稲田大学名誉教授
熊坂義裕	医師、(一社)社会的包摂サポートセンター代表理事	堂本暁子	前千葉県知事

少女たちが危ない

SNSを使った誘拐や性被害
援助交際、家出、神待ち、泊め男
JKビジネス、AV被害、クスリ
デートDV、#MeToo

社会（特に男性）の見方

モラルの低下？自己責任？注意の欠如？

どうもそうじゃない！

**背後に様々な生きづらさがある（虐待、貧困、いじめ、孤立・・・）
とりわけ性被害（性暴力、性虐待、性搾取）の影響が深刻**

若草プロジェクトの活動

間接支援
(支援現場の支援)

直接支援

つなぐ

生きづらさを抱えた少女や若い女性たちと支援者をつなぎ、支援者と支援者、支援の現場と企業や社会をつなぎます

- ・LINE相談の実施
- ・若草ハウスの運営
- ・まちなか保健室（新規）

- ・企業と支援の現場を結ぶ活動
- ・若草メディカルサポート基金
- ・**TsunAが〜る（新規）**

まなぶ

少女や若い女性たちの現状を理解し、支援の方法を学ぶため、連続研修会を実施します。また、支援者のためのマニュアルを発行しています。

- ・「女の子たちの今」を知り「信頼される大人」になるための連続講座
- ・少女 若年女性を支援する人のためのハンドブック
- ・若草チャンネル（新規）

ひろめる

少女や若い女性たちの問題の深刻さを社会に広く訴えます。

- ・シンポジウムの開催（今年はオンライン報告会）
- ・広報活動

つなぐ

LINE相談 携帯電話のLINEアプリを使って相談活動を展開

- 若手（ピア相談）＋ベテラン（スーパーバイズ）で週2回
- 深刻な相談はメール・電話、対面・同行へと繋げていく
- 相談件数（2019年度実績） 年間約2,200件

玄関にある寂聴さんの額

若草ハウス 日本財団の助成で2018年秋に完成・受け入れ開始

- 公的な支援だけでは繋がれない少女・若年女性の存在
公的機関よりも、敷居の低い場所
当事者のニーズに合わせて、短期から中・長期まで利用できる場所
- 担当弁護士がついて、親・学校・行政との対応などについてサポート
- 運営費用は助成金や寄付が大半・・・今後の運営が課題
- 医療や就労のサポートなど、多角的な支援に広げていくことも目標



まちなか保健室（2020年度新規事業）

学校の保健室の役割を持つ場所をまちなかにも

- ホット一休みできる
- 悩みを相談できる
 - 専門家によるところ、からだ、くらしの相談
- 楽しいことができる
 - アロママッサージ、ネイルケア、占い等

場所 東京都千代田区（お茶の水と秋葉原の間）

スタッフ 千代田区在住の女性たち



支援の現場と企業をつなぐ

連携している施設

(施設数)

婦人保護施設	家庭環境の破綻、生活困窮で困難を抱える女性を保護	48
子どもシェルター	10代後半の子供達の自立のための一時避難	21
全国女性シェルターネット	DV被害者支援	67
自立援助ホーム	家庭にいられない10代後半の子供達の支援	129
アフターケア	児童養護施設や里親を巣立った子どもたちの相談	10
女子少年院退院	保護者のいない退院者支援	9
BONDプロジェクト、Colabo、 若草ハウス	10-20代の女性の相談&シェルター保護	3
女子更生保護施設	刑務所・少年院を出て家族の援助のない人の 社会復帰支援	15

連携している企業

- 包括協定 ファーストリテイリング・日本生命保険
- 資金協力：日本産業パートナーズ
- 調査協力：ロート製薬
- 支援提供：大王製紙・ハウス食品グループ・タキヒヨー

若草×服のチカラプロジェクト

(株)ファーストリテイリングと協定を結び、コラボ事業を実施

- ・少女たちを支援する施設（約130）にユニクロの肌着等を寄付
- ・Theory販売員のコーディネートや専門家のメイクアップと写真撮影、服のプレゼント（今年度は服の送付に切替）

若草メディカルサポート基金

企業の寄付を基に、シェルター等に避難する少女たちのための
医療的経費を補助

（診察、妊娠検査薬、アフターピル、カウンセリング等）

TsunAが～る（2020年12月開始）

- ・インターネット上のプラットフォーム
- ・少女たちが必要としているサポートと企業が提供可能なサポートをマッチングし、必要な人に必要なサポートを提供

SDGsと若草プロジェクト



SDGs :

国連が2015年に定めた2030年までの「持続的開発目標」。

目標17では企業を含むすべての関係者の努力（マルチステークホルダー・パートナーシップ）をうたっている。

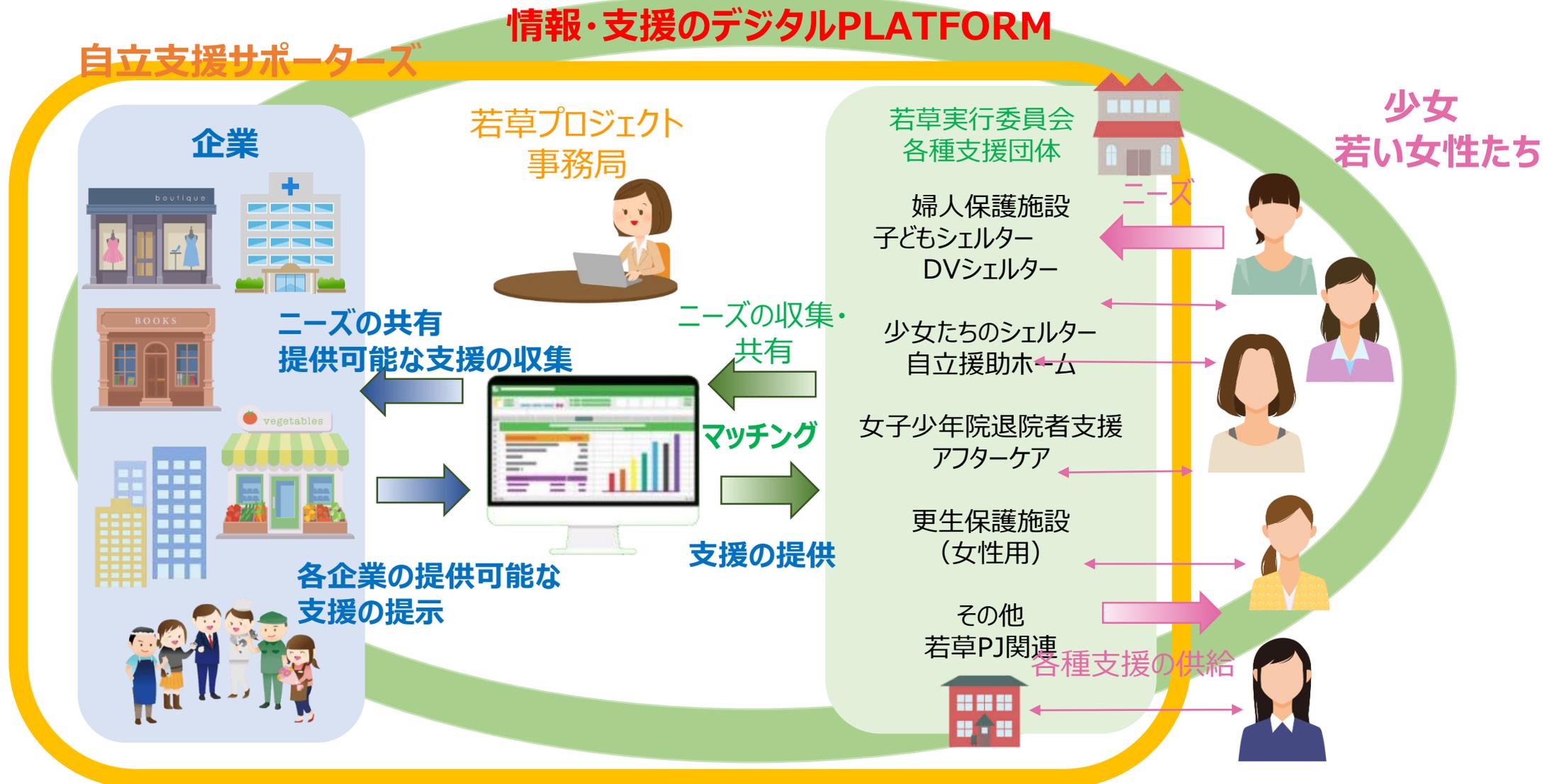
「若草プロジェクト」の活動は、SDGsの目標のうち、1貧困撲滅、2飢餓ゼロ、3健康と福祉、4質の高い教育、5ジェンダー平等、10人や国の不平等を無くす、16平和と公正、17パートナーシップに該当します。

特に、5ジェンダー平等については、SDGsの達成率を測る進捗度調査（2017年）において、日本は非常に低い評価を受けており、改善を迫られている状況です。



Little Women Project
若草プロジェクト

プラットフォーム 「TsunAが〜る」について





企業の提供内容

キャンペーン

- 企業からご提供いただける商品をご紹介します
例) 日用品、衣類、食品、化粧品、玩具など
- 季節ごと、地域ごとのイベントとして作成できます

提供物

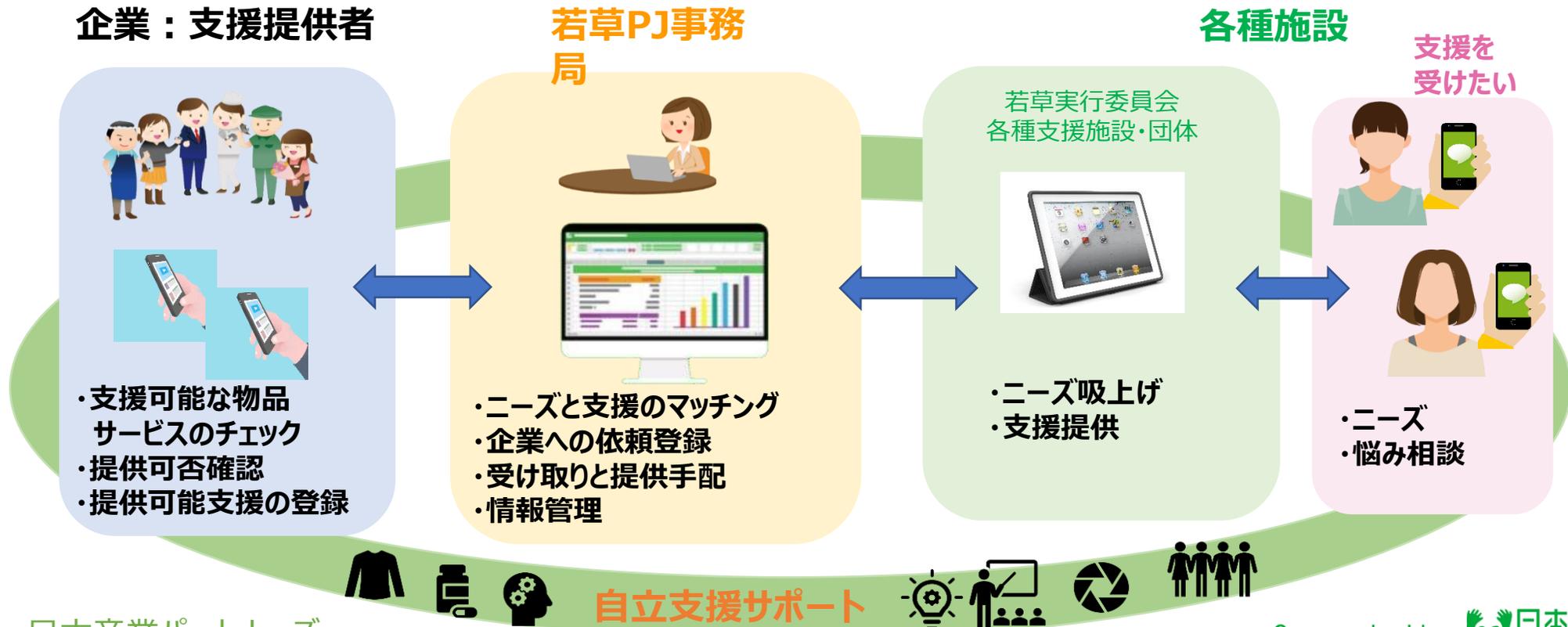
- 提供総数に合わせて施設のニーズへマッチングいたします
- 1商品から複数商品までご登録いただけます

提供単位

- 提供する単位はご要望に応じて対応いたします
例) 5商品ランダムに入って1セット など

TsunAが〜る：「支援情報とニーズをつなぐプラットフォーム」 「支援できる人たち」と「支援を必要としている人たち」をつなぎ必要な支援を届けます

- ・企業や専門機関などの提供可能支援情報と必要とされている支援をマッチングし、必要な人に必要なサポートを提供します。
- ・TsunAが〜るを活用し、より多くの企業、専門機関とより多くの支援施設・団体をつなぎ、サポートの輪を広げます。



プラットフォーム「TsunA が～る」 応援企業・団体

【デモンストレーションご協力】

企業

- ・ 株式会社ファーストリテイリング
- ・ 大王製紙株式会社
- ・ ハウス食品グループ

施設

- ・ 社会福祉法人カリヨン子どもセンター

助成金協力

- ・ 公益財団法人 日本財団

資金協力

- ・ 日本産業パートナーズ株式会社

開設協力

- ・ 株式会社 朝日エル
- ・ 山本真士（聖マリアンナ医科大学）
- ・ 株式会社 えんがわ

運営主体

- ・ 一般社団法人若草プロジェクト